

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 京谷 幸一 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円 (内用地補償費 4 億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (一) 下立杭柏原線	篠山市今田町休場		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
篠山市今田町下休場				平成 15 年度	平成 19 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分離を図り、交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備 (片側) L = 1 , 5 0 0 m W = 3 . 0 (3 . 5) m		
評価視点					
(1) 必要性 快適性・ゆとり その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 3,487 台/日、歩行者 106 人/日、自転車 134 台/日) ・大型車の交通量が多い (大型車混入率約 20%)。 ・学童の交通量 (100 人/日) が多い。 ・過去 5 年間に歩行者、自転車の交通事故件数 (2 件)。 ・死傷事故率 (155 人/億台 km) ・沿道には丹波立杭焼き登り窯が、周辺には今田中学校 (約 2.5 km)、今田小学校 (約 1.5km)、陶の里 (約 1km) があり、通学する学童や生徒の他に観光客の通行も多く、多様な通行状況である。 ・秋の陶器祭りには 2 日間で 15 万人の来訪者がある。 ・今田小学校、今田中学校の通学路に指定されている。 ・住民参加による交通安全総点検実施地区内の事業。 ・連続性の確保 (前後の整備状況・・・終点側整備済み)。 ・幅広歩道の整備 (3.5 m)。 ・地元からの事業化に対して要望あり。 				
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な用地取得に向けて、篠山市と用地取得体制に関する協議済み。 				
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の確保、透水性舗装の採用により、道路交通環境の改善が図られる。 				
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所は、今田小学校、今田中学校の通学路に指定されていることから、歩行者・自転車の交通量が多く、また、沿道にある立杭焼き登り窯への観光客の往来が多い為、多様な通行状況となっており、過去 5 年間に歩行者・自転車の交通事故が 2 件発生しており、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。 				